

# .Asiaの価値と利用

## .Asiaドメインを登録すべき理由は何ですか？ 登録したドメインの使い道は？

“.Asia” という拡張子は、日常用いられている自然言語です。「Asia」という言葉はすでに多くのブランド名や会社名に使われています。Yahoo.co.jpで「Asia Ltd」をキーワードに検索すると、完全に一致する結果は1400万件あります。

.Asiaのトップレベルドメインは、企業やブランドにとって、単なるブランドの保護以上の資産となる可能性があります。地域に展開しようとしているローカルな企業であれ、地域本部を設置しようとしている多国籍企業であれ、より所属意識を表させるために、「Asia」という言葉をブランド名につけることがよくあります。あなたの会社の主要なオンラインアイデンティティを変化させることなく、また、グローバルブランドのイメージを損なうことなく、ビジネスに付加価値をもたらす創造的な方法で.Asiaドメインを活用することができます。

.Asiaドメインが価値を提供する分野は数多くあります。以下はその一部です。

- アジア地域に展開しようとしている国内企業  
JapanAirlines.Asia / IndiaTimes.Asia / Baidu.Asia
- アジアを焦点とする部門を持つグローバル企業  
Sanrio.Asia / Toyota.Asia / LouisVuitton.Asia;
- アジア地域のエキスポや会議のウェブサイト  
ITU Telecom Asia; Electronics Asia; Film Festival Asia
- アジア地域に焦点を当てた宣伝用イベント  
Asian Gamesや他のアジアのイベントや活動の広告  
キャンペーンやスポンサーシップ



例えば、Asian Gamesのスポンサーなら、会場のあらゆる場所で自分のブランド名の.Asiaドメインを用いれば、他のドメインの拡張子よりも効果的に会社の地域プロジェクトのホームページを宣伝できます。

.Asiaトップレベルドメインは、ccTLD (国コードのドメイン) や他のgTLD (ジェネリックドメイン) を補完する価値を提供します。おそらく、一番良い例はメディア業界でしょう。CNNやBBCワールド、タイム誌といったグローバルなメディアチャンネルがあります。さらに、CNNアジアやBBCアジアネットワーク、タイムアジアといった地域ごとのチャンネルがあります。加えて、ジャパントイムズやバンコクポストと言った地域に焦点を当てたメディアニュースステーション、雑誌、新聞があります。それぞれがそれぞれの場所、スペース、価値を持っています。アジア地域に焦点をあてるメディアのように、「.Asia」は、ニッチな消費者や市場に対応します。.Asiaドメインがその価値を凝縮するのはこのニッチにおいてなのです。

アジア人が直接に自分達自身を個人として特定するために「Asia」という言葉を用いるかどうかということではありません。あるいは、アジアを地理的にあらかず統一見解があるかどうかということでもありません。「Asia」という言葉は、毎日の生活のあらゆる側面で、特に、素性、興味、消費者の範囲を特定するものとしてしっかり定着し、一般に使われている、ということが重要なのです。

## ドットアジア・パイオニア・ドメイン・プログラム (.Asia Pioneer Domains Program)

.Asiaのパイオニアになろう。誰よりも早く最高の.Asiaドメインを手に入れよう! は、誰でも.Asiaレジストリから最高のドメイン名を獲得し、エキサイティングで新しいウェブサイトを作ることができるユニークなプログラムです。申し込み後、選んだドメインについて簡単な企画案を作成して提出してください。もっとも素晴らしい企画案を出した人に、選んだ.Asiaドメインを運営する権利が与えられます。抽選ではありません! だから急ぐ必要ありません! Asobi.Asiaに関するアイデアはありますか? Holidays.Asiaはどうですか? ドットアジアを考えよう! Think big! Think.Asia!

ドメイン名の価値は、この数年の間に着実に上昇し、大きな利益をあげています。

## 流行のキーワードや人気ある単独の用語を用いた目立つドメイン名は、流通市場において何百万ドルもの価値があります。

ドメイン名をお持ちですか? その価値を認識していますか? この新しい市場から取り残されていませんか? .Asiaドメインを手に入れて、このプログラムに参加しませんか? これこそ、あなたがずっと待っていたビジネスチャンスかもしれません。ここからアジアの他の地域への扉が開かれるかもしれません。

.Asiaドメインというインターネット世界の不動産の開発において建設的な投資を盛り上げることが.Asia Pioneer Domains Programの目的です。.Asiaのドメインを選んで、その運営についてアイデアを書き、そのドメインを宣伝しようとする意欲があれば、その.Asiaドメインのパイオニア、そしてオーナーになれるのです。Music.Asia! Trade.Asia! Ganbatte.Asia! のオーナーになれば、たくさんのエキサイティングなことが期待できます。

2007年、.Asiaはサンライズをスタートします。Asiaという新しい仮想不動産でパイオニア、オーナーになるチャンスです。



お問い合わせは [pioneers@dot.asia](mailto:pioneers@dot.asia) まで。

# アジアドメインの誕生!

## ドットアジア・サンライズ・プロセス (The .Asia Sunrise Process)

.Asiaトップレベルドメイン名の「Sunrise Process」は、.Asiaトップレベルドメインを安定した方法で秩序正しく、インターネットが持つ社会技術的構造に導入できるようにデザインされています。Asiaのサンライズプロセス（優先登録プロセスは）、三つのメインフェーズに分かれています。

### プレサンライズ&サンライズ 1 (Pre-Sunrise and SR1): 政府向け

.Asiaレジストリは、アジア太平洋地域の政府機関に対して、ローカルコミュニティと関連を持つ予約語のリストを送ることを要請します(プレサンライズ)。SR1のスタートの際、政府は、これらの予約された名前のリストに掲載されているドメインを登録することができます。

### サンライズ2 (SR2): 登録済商標権者向け

これはさらに三つのレベルに細かく分かれており、それぞれに対応する優先権があります。SR2で受け取った申込書は、サンライズポリシーへの適合性が確認されます。商標の所有者又は指定代理人のみが登録者となることができます。指名された適合性確認代理店(Verification Agents)が、受け取った情報をもとに申込書のレビューを行います。

### サンライズ 3 (SR3): 企業名や事業名の権利保持者向け

アジアのコミュニティの中では、多くの企業、特に中小企業(SME)は自社のブランドや会社名の商標を登録していません。このことを考慮し、アジアの企業や団体に対し、.Asiaドメインにおいて会社名を登録するための妥当だと思われる優先権を与えるのがサンライズ 3 (SR3)です。

## なぜドメインの申込者の中でオークションが開かれるのですか?

単純な早い者勝ち(First-Come-First-Served -- FCFS)というやり方では、登録者が登録開始時に名前を求めて大混戦のレースとなり、基本的に宝くじの抽選のような状態に陥りますが、ドットアジア・スタートアップ・プロセス(サンライズ及びブランドラッシュ:優先登録及び同時申請)は、落ち着いた形の公平で合理的な方法で行われます。

サンライズ又はランドラッシュのある特定の段階で受け取った登録申込書は全て、同時に受け取ったものとみなされます。確認後に適格と認められた申込書が1件のみだった場合、そのドメイン名は自動的にその申込者に割り当てられます。一つのドメイン名に対して、適格と認められた申込者が複数いる場合、適格と認められた申込者の中でそのドメインのオークションが開かれます。オークションは、イギリス方式(すなわち、各入札はその前の入札より高額であること、入札を希望する参加者がなくなった時点でオークションを終了とすること、最高額入札者を落札者とすること)で妥当と思われる透明性を持って、行われます。

オークション開始前、適格入札者に、自分以外の適格入札者の登録情報が渡されます。この登録情報を参考に、他の入札者の身元を評価す

るだけでなく、オークションに参加するかどうか考えることができます。適格な申込者が一人しかいないドメイン名についてはオークションは開催しません。

ICANNの分野別ドメイン名支持組織(Generic Names Supporting Organization, GNSO)の会長、ブルース・トンキン氏も、マネージング・インテレクチュアル・プロパティ(Managing Intellectual Property)誌の最近のインタビューで、オークションシステムは良い方法だと語っています。なぜならば、「他の方法でのドメイン名の登録開始の場合と比べ、登録の際に列の先頭に行こうと複数の登録機関に支払いをするよりも会社にとってはこの方が安くつくかもしれない。」

(FCFSモデルのような)ほとんどチャンスがないやり方でドメイン名を割り当てるよりもむしろ、オークションモデルの方が、そのドメインに一番興味を持っている申込者に入札する機会を与える方法といえます。最も重要なのは、競争的な入札システムによって、DotAsiaが、ドメイン名を勝ち取った登録者たちがそのドメイン名を積極的に利用しよう奨励すること、また、全くの受身の登録を減らすことを意図していることです。

## ドットアジア・オーガニゼーション(DotAsia Organisation)について

ドットアジア・オーガニゼーション(DotAsia Organisation Limited)は、香港で法人化された会員制の非営利団体です。DotAsiaは、2006年12月6日にICANN(Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)と契約を締結し、DotAsiaのgTLDのスポンサ組織およびレジストリとなりました。DotAsiaの組織ガバナンスはトップレベルドメインレジストリのオペレーションに関する豊富な知識を提供する国別コードトップレベルドメインレジストリ(ccTLDs)が担います。さらに、コミュニティに関連する地域グループの広範なボトムアップ方針策定の専門知識を活用することにより、組織ガバナンスが向上します。

アジアの、成功にあふれ協力的なインターネットコミュニティを活用することがDotAsiaのビジョンです。DotAsiaは、世界的に認められかつ各地域において重要な意味を持つ、インターネットネームスペースを確立し、運営していくことを目指します。DotAsiaの使命は、アジアのインターネットコミュニティのニーズを満たすことに全力を注ぐ、発展し続ける非営利団体を運営していくことです。DotAsiaは、コミュニティの社会技術の発展活動に利益を再投資したいと考えています。将来的には、情報格差を解消するデジタル化プロジェクト、発展途上国の子供たちや学生がインターネットにアクセスできるようにする支援への貢献、インターネットの

地域への導入を積極的に推進する研究開発への取り組みや、その他多くの有意義なプログラムへの再投資を行う予定です。

DotAsia Organisationの現メンバー: スポンサーメンバーは、ICANNがアジア / オーストラリア / 太平洋地域と定義する、汎アジアおよびアジア太平洋地域のccTLDの登録管理及び運営を担う組織・団体です。共同スポンサーメンバーは、汎アジアおよびアジア太平洋地域のインターネット、情報技術、電気通信、非営利団体、非政府組織、又はその他の関連するコミュニティの組織・団体です。